

## 天溪 「チロルとドロミテハイキング 10日間」

### 第2部

ツアーの後半はドロミテ山塊を代表するドライチンネから再びオーストリアに戻り、ハプスブルク家縁の保養地でサウンドオブミュージックの舞台にもなったザルツカンマーグートを巡り、最後に音楽の古都ザルツブルグに至り、旅の締め括りにホーエンザルツブルグ城内でディナー&コンサートを鑑賞しました。



(ドライチンネ 9/10日)

#### ○ドライチンネ

奇岩が織りなすドロミテ山塊に有り、ひととき威厳を放つドライチンネ（独読）、トレチーメ（伊読）。岩の名称は上記写真の左から小・大・西で最高峰は中央に位置する大（2999m）。快晴無風に足取りも軽く（重い方も）時計回りで周回。見る方向と陰影が織りなす威圧感に芸術性を掻き立てながらハイキングを続けました。



#### ○再びオーストリアへ

ドロミテから移動の途中‘聖なる血’で有名なハイリゲンブルート、オーストリアの最高峰グロースグロックナー（3798m）が望まれるフランツヨーゼフヘーエに立ち寄りました。この日は昨日と違い少々雲が多めで高峰の頂は残念ながら雲の中。大きな違いは妙に気温が高くフェーン現象の様な陽気に嫌な予感。あと1日持ってくれと願いつつゴーザウ・ダハシュタインへ。



○ザルツカンマーゲート

予感は的中、今迄のチロル晴れが嘘の様に朝から大雨。急遽ドレミの歌で有名なシャーフベルグのSL&ハイキングを翌日に回しハルシュタットの塩坑見学、続いてハプスブルク家の別荘があるバドイシュルへ向かい、チョコレートで有名なお店で午後のコーヒータイム。翌日も期待外れで山間部は何と雪模様。シャーフベルグ行のSLは動いたものの駅員曰く“乗った列車で帰るように”1400m 辺りから雪景色になりシャーフベルグ駅は吹雪、積雪20cm!



○ザルツブルグ

今年も市内から見上げるホーエンザルツブルグ城内でディナー&コンサートを楽しみました。昨年も紹介しましたが階段を幾つも上がって入ったコンサートホールは宗教的な祝祭や宴を催す際に使われたと言う領主の間。飲み過ぎて居眠りしないように皆様にお話をしてから本番に。(私事ではありません) 皆様なじみモーツァルトの名曲“アイネクライネナハトムジーク”などの調べを聞きながら旅の余韻に浸りました。



(ディナー&コンサート 9/13日)



次の天溪ツアーは所をアメリカ大陸に移し「紅葉のカナディアンロッキー 9日間」をお伝えします。